



松水 宏
● 食品
● 商務官



鍵 謙
● 穀物
● 油糧
● 商務官



松浦昭一
● 畜産
● 水産
● 商務官



J. J. ガードナー
● 穀物
● 油糧
● 記官



D. G. マクニコル
● 農水産統轄
● 加工食品
● 参事官

ための情報提供や説得に力を入れている。

カナダが豊かな農産国であることは、言うまでもない。対日輸出品目の筆頭は穀類。中でも小麦・大麦は日本の三大輸入先に入る。今後の有望品目は油糧作物(なたね)。カナダのなたね(キャノーラ)は在来種とは違う独自の改良品種だ。健康に良い低エルシン酸のキャノーラ・オイル、家畜飼料に好適なキャノーラ・ミールとして市場で注目されている。商務部では日加

者の嗜好が多様化してくるにつれて伸びが期待され、担当者としてもその辺の動向把握に努力している。嗜好の問題は、水産物に典型的に表われる。カナダ産の数の子、紅ザケ、シヤモ、淡水ワカサギなどは日本ですでにおなじみだが、冷凍技術の進んだカナダの生鮮魚を日本の消費者にもっとたくさん食べてもらうには日本人の嗜好に合わせたカナダ側の努力が大切。担当者もカナダの業者や政府を啓蒙する

なたね粕シンポジウムや食用油の共同キャンペーンを実施(日本油脂協会と共催)している。飼料原料(ふすま、アルファルファ等)、乾燥豆類、ピートモス(理想的な土壌改良剤)なども主な取扱品目。家畜飼料として大きな伸びが期待されるアルファルファについても、今年五月に初めて技術セミナーを企画、実行した。カナダは農産物の品種改良や用途に関する基礎研究の蓄積が厚く、この面での情報提供や技術交流の仕事が多い。当セクションでは日本農業と摩擦のない形での輸出促進を追求してきた。その典型的な成功例がからし、玄そば、キャノーラで、カナダ側へのこうした適切な助言も大事な仕事だ。

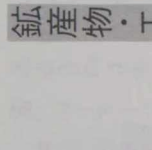
食品関係では、日本の消費者のカナダ産品に対する理解は、まだまだの状態にある。たとえばカナダにはスパゲッティやワインの非常にいいものがあるが、日本でそれを知っている人は少ない。そのほかハチミツ、果実加工品(とくにベリージャム)などもカナダが誇りうる食品だ。そこで当セクションとしてはこうしたカナダ食品の宣伝が一大任務となってくる。有名デパート等でのカナダ食品フェア、有名ホテルのレストラン・ショーのお世話を積極的にやっている。来年三月の東京晴海の国際食品展にも初参加する予定。カナダ産食品の輸出振興には、両国の食品衛生法規の違いが一つのネックとなっており、このため担当者は日本の関係法規に関する資料を作成するなど、カナダ側の理解を深める努力を続けている。



B. C. カンケン
● 石油
● 天然ガス
● 海洋開発機器
● 輸送機器
● 1等書記官



T. D. マギキ
● 金鋼
● 鉱産物
● 石油
● エネルギー資源
● 以外の工



福田 誠一
● 鉱産物
● エネルギー資源
● 一商務官

相次ぐミッションのお手伝いで忙しい。そのほか、エネルギー・鉱産物の対日輸出促進、日本企業の対加投資あるいはカナダにおける合弁事業の促進、日本の産業

鉱産物・エネルギー担当

金属、鉱物、エ

ネルギー資源は、カナダの対日輸出総額の半分以上を占める。カナダは日本にとって重要な天然資源供給国なのだ。当然、業者や政府関係者の相互訪問もひんばんで、このセクションは、こうした

カナダ・トレード・センター

カナダ・トレード・センターは、駐日カナダ大使館によって企画、運営され、優れた品質と国際競争力を持つカナダの製品を、種々の専門展示会を通して日本の業界に紹介するために、一九七九年一月に設立された。場所は、東京・池袋のサンシャイン・シティ内ワールド・インポート・マート七階。

これまで三十二回にわたって各種展示

務。エネルギー資源や鉱産物は、伝統的にカナダの重要な対日輸出品であるが、最近日本の鉄鋼業界がブリテイッシュ・コロンビア州北東部から原料炭を開発輸出する基本契約を結んだほか、北極石油(株)がボート海での石油・天然ガス開発に参加することになり、また中部、九州、中国の各電力会社と大阪、東邦両ガス会社がカナダから大量の液化天然ガスを二十年にわたって購入する契約を結んだことにより、日本に対する地下資源供給地としてのカナダの重要性はさらに高まった。日本はまた、将来が期待されているオイルサンドの開発にも参加してい

会が開催され、二百以上のカナダ企業が参加し、八千人近くの日本の業界関係者を迎えている。成立した商談も多い。展示会場にはカナダの出展企業の代表が控えており、来場者からの質問や商談に応じている。

現在、次の展示会が予定されている。

- 一月十九〜二十一日 スポーツウエア、スポーツ用品展
- 二月十二〜十四日 ハイ・テクノロジー展
- 三月二〜五日 コンビエータ・通信機器展

界に対するカナダのエネルギー政策、鉱産物政策の説明、日本のエネルギー事情に関するカナダ政府への報告が、主な任